

伊豆縦貫自動車道（^{あまぎ}天城湯ヶ島^{ゆがしま}～^{かわづ}河津）
第3回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

平成29年12月13日

目次

1. 計画段階評価の検討の流れ 2
2. 第2回意見聴取の結果 6
3. 対応方針(原案)の検討 17
4. 自治体への意見照会結果 22
5. 対応方針(案)のまとめ 26

1. 計画段階評価の検討の流れ

1. 計画段階評価の検討の流れ

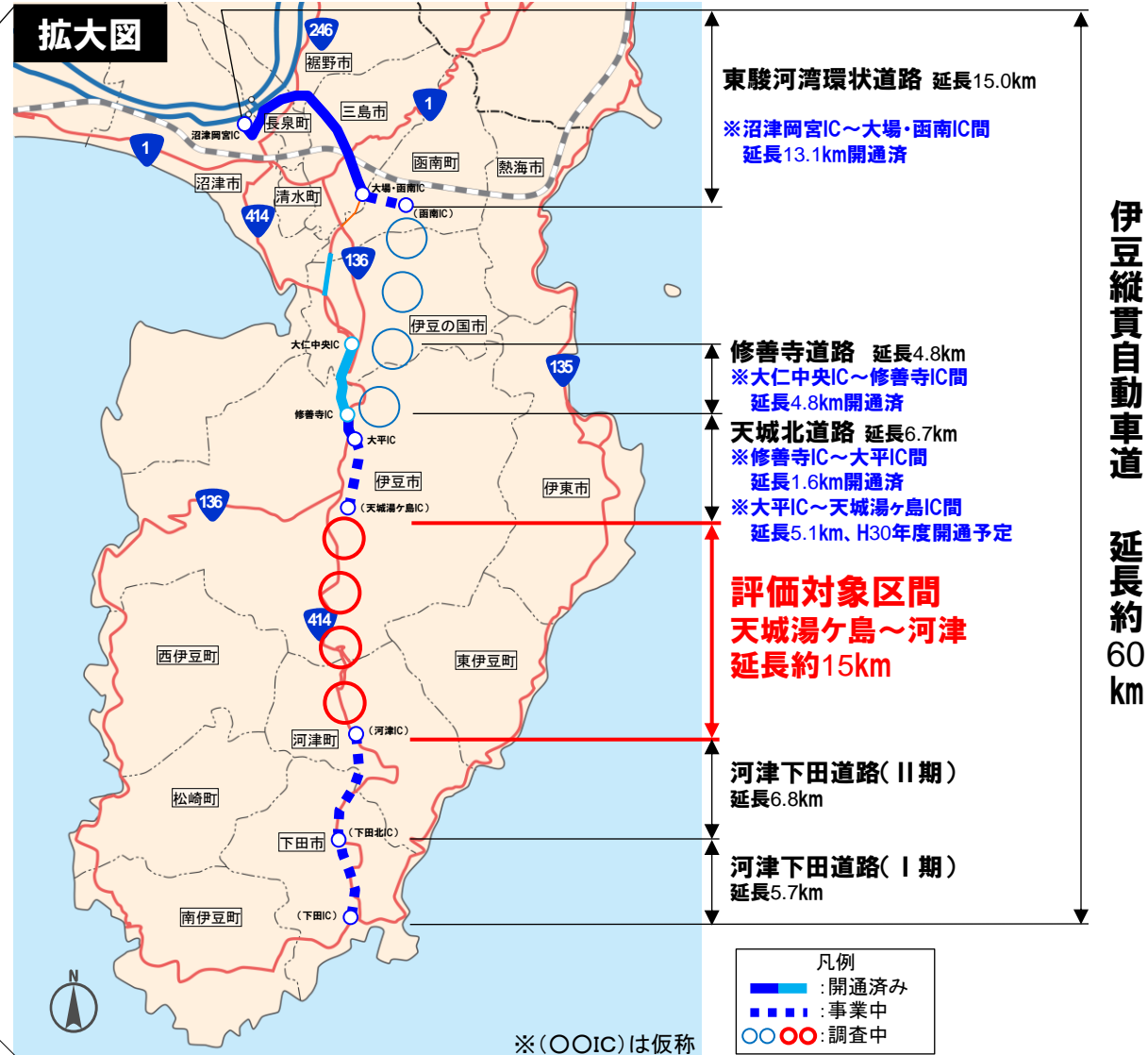
1) 評価対象区間

■ 評価対象区間は、伊豆半島の南北軸を形成する高規格幹線道路 伊豆縦貫自動車道（延長約60km）のうち、伊豆市から河津町を結ぶ延長約15kmの区間。

広域図



拡大図



1. 計画段階評価の検討の流れ

2) 前回審議内容

■社会資本整備審議会 道路分科会 平成28年度 第1回中部地方小委員会の概要

実施日：平成29年3月27日（月） 開催

主な議事：

- ①計画段階評価の検討の流れ
- ②第1回意見聴取の結果
- ③対応方針の検討
- ④第2回意見聴取の方法

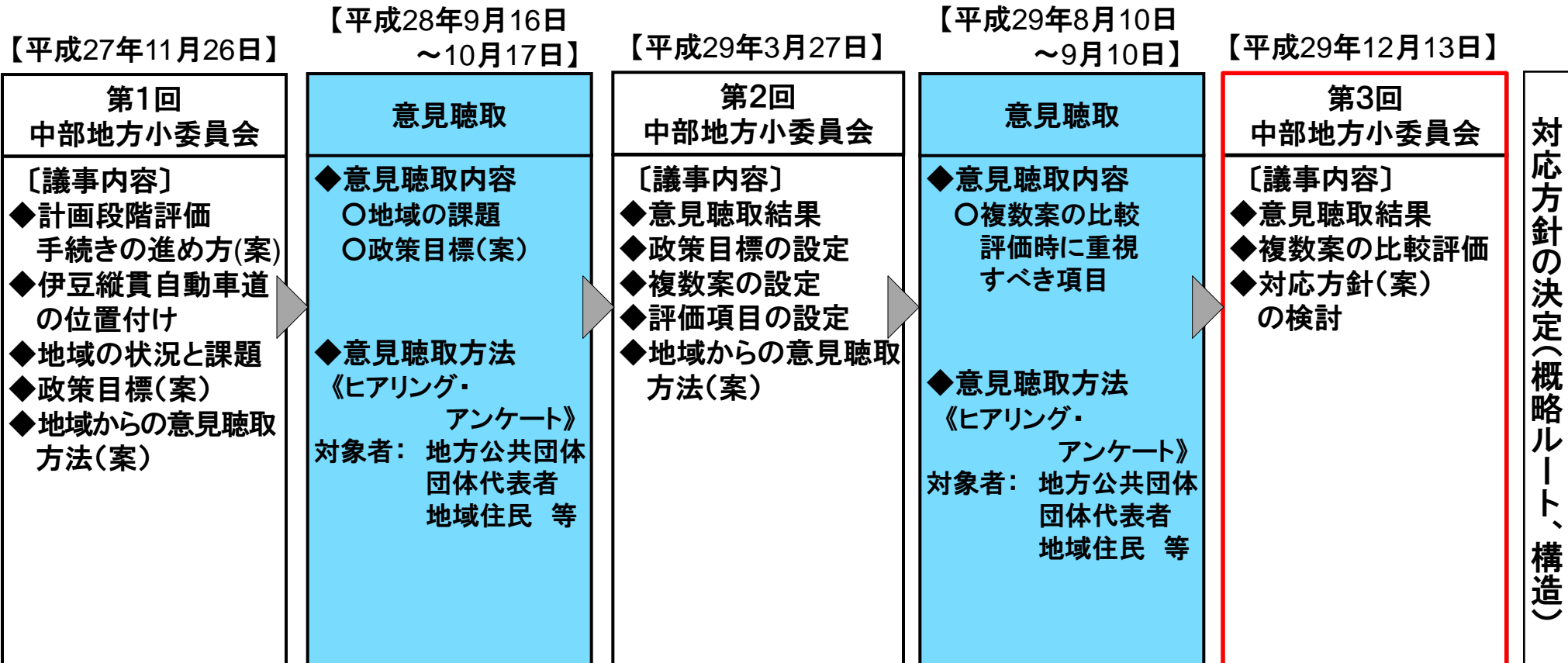
■社会資本整備審議会 道路分科会 平成28年度 第1回中部地方小委員会での第2回意見聴取にあたって主な指摘事項と対応状況

意見	対応案
・ヒアリングやアンケートを実施する際に、この地域の現状や、当該道路の整備前後の状況について、分かりやすい形で表現できるように工夫した方が良いのではないかと。	○アンケート票に同封する補足説明資料を作成 ・各ルートの整備イメージを表現したイラストを掲載。 ・伊豆半島全体の地図を用いて地形的特徴や地域を代表する産業（観光業、漁業等）を表現。 ・各ルートの整備前後における、主要拠点間の所要時間を掲載。
・特に現道活用区間においては、整備後の沿道状況等がイメージとして伝わる事が重要。	
・地域の現状については、この地域の産業や地形的特徴等を表現できないか。	
・整備前後の状況については、各ルート案の所要時間の短縮効果や構造的な特徴を表現した方がよい。	

1. 計画段階評価の検討の流れ

2) 計画段階評価手続きの進め方

■ 地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略の計画案(複数案)〕について検討を行う。

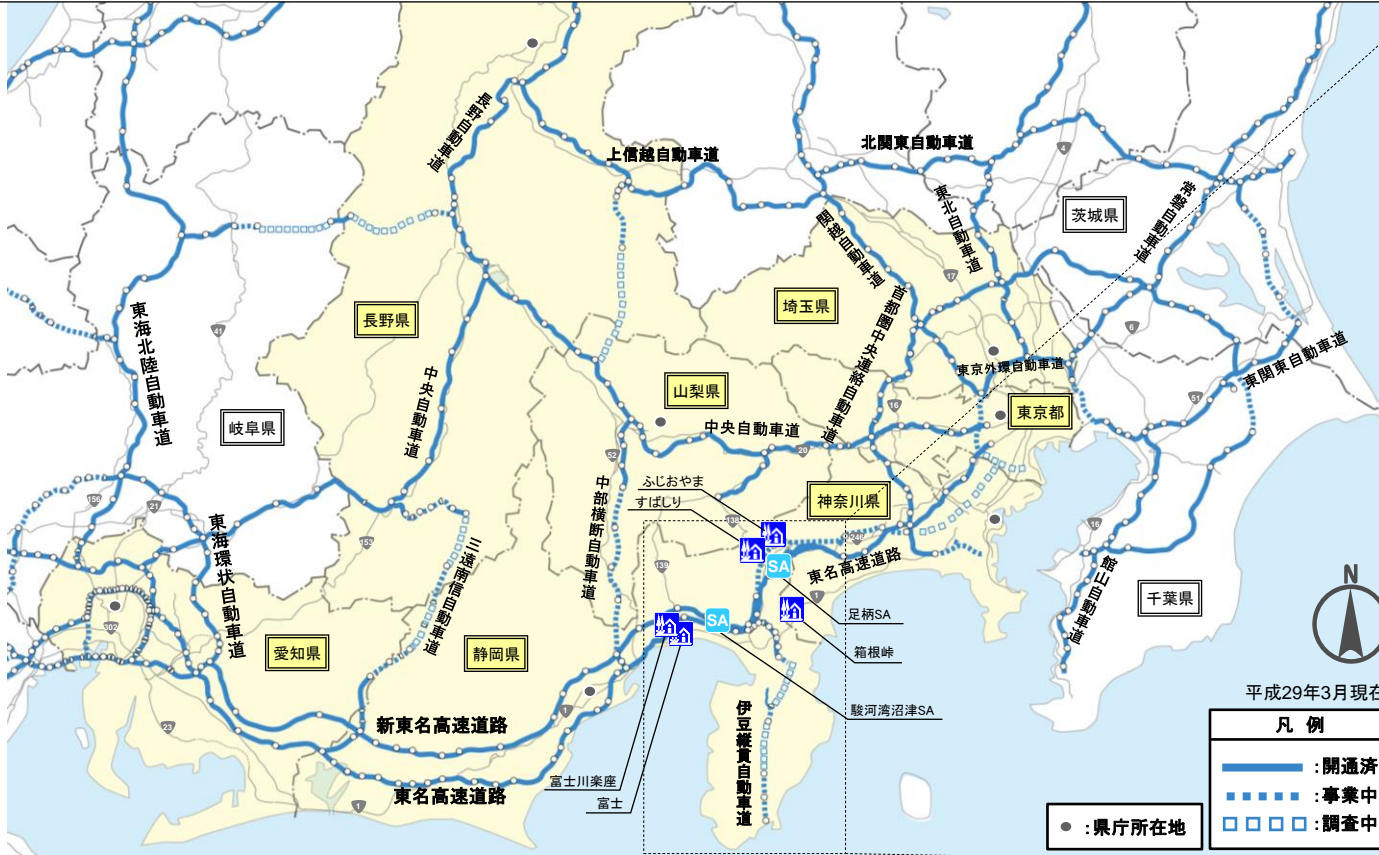


2. 第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要①

■伊豆地域全域の地方公共団体や沿線・周辺地域の住民、各種団体、道路利用者などから、対策案（ルート帯案）等に関する意見聴取を実施。



	調査項目	対象
アンケート	①住民アンケート(7市町約48,384世帯+HP掲載)	下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
	②道路利用者アンケート (道の駅、WEBアンケート+HP掲載)	道の駅：花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くらら戸田、伊豆ゲートウェイ函南 富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠 高速道路SA：新東名 駿河湾沼津SA(上り線)、東名 足柄SA(下り線) , Webアンケート：伊豆半島への来訪経験のある方(免許所有者)
ヒアリング	③沿線地域アンケート(約2,091団体)	商工会会員、観光協会会員、温泉旅館組合会員、静岡県トラック協会会員、静岡県バス協会会員、静岡県タクシー協会会員
	④地方公共団体ヒアリング (7都県、16市町)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県(土木事務所、振興局等含む)、愛知県、沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町
	⑤沿線・周辺地域ヒアリング(44団体)	消防署、警察署、医療機関、商工会、観光協会、温泉旅館組合、漁業協同組合、農業協同組合、わさび組合、「道の駅」代表
	⑥その他地域ヒアリング(8団体)	自衛隊、箱根町観光協会、熱海市観光協会、中部圏・首都圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会、沿線地域と相互支援協定を締結している地方公共団体

2. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要②

■意見聴取の方法、対象者および回収状況

調査項目		回収方法	実施期間	対象	調査数	回収数	回収率	
アンケート	①住民アンケート	郵送回収	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	46,733票	9,454票	20%	
		役場常設	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)		—	178票	—	
		事務所HP Eメール・FAX	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)		—	2票	—	
	小計					46,733票	9,634票	—
	②道路利用者アンケート	「道の駅」利用者	施設常設	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くるら戸田、伊豆ゲートウェイ函南	—	89票	—
			インタビュー	平成29年8月19日(土)～平成29年8月23日(水)	天城越え、伊豆ゲートウェイ函南、富士、富士川楽座、ふじおやま、すばしり、箱根峠、駿河湾沼津SA(上り線)、足柄SA(下り線)	945票	945票	100%
		WEBモニター	WEB	平成29年8月25日(金)～平成29年8月28日(月)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県	500票	500票	100%
		事務所HP	Eメール・FAX	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	全国	—	1票	—
	小計					1,445票	1,535票	—
	③沿線地域アンケート(団体)	郵送回収	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	商工会会員、観光協会会員、温泉旅館組合会員、静岡県トラック協会会員、静岡県バス協会会員、静岡県タクシー協会会員	1,667票	450票	27%	
小計					1,667票	450票	—	
合計					49,845票	11,619票	—	
ヒアリング	④地方公共団体ヒアリング (7都県、16市町)	ヒアリング ※一部郵送	平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県(土木事務所、振興局等含む)、愛知県沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町				
	⑤沿線・周辺地域ヒアリング (44団体)		平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	消防署、警察署、医療機関、商工会、観光協会、温泉旅館組合、漁業協同組合、農業協同組合、わさび組合、「道の駅」代表				
	⑥その他地域ヒアリング (8団体)		平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)	自衛隊、箱根町観光協会、熱海市観光協会、中部圏・首都圏の全国旅行業協会・日本旅行業協会、沿線地域と災害時相互支援協定を締結している地方公共団体				

2. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要③

- 市役所、町役場や「道の駅」における道路利用者アンケートの常設、高速道路SAや「道の駅」でのインタビュー調査を実施。
- 沼津河川国道事務所や自治体のホームページに掲載し、インターネットによるアンケート調査を実施。

■市役所・町役場や「道の駅」での道路利用者アンケート票の常設



▲南伊豆町役場

■高速道路SA、「道の駅」でのインタビュー調査



▲新東名高速 駿河湾沼津SA

■ホームページでのアンケートバナーの掲載



伊豆縦貫自動車道（天城湯ヶ島～河津）の計画に関する
第2回アンケート

伊豆縦貫自動車道は静岡県沼津市から下田市までの延長約60kmの高規格幹線道路です。

伊豆縦貫自動車道（天城湯ヶ島～河津）については、起點ルート・構造の検討（計画段階検討）を進めているところです。

その検討にあたり、地域の皆さまや通勤を利用される方々のご意見をお聞きでき、ご協力をお願いいたします。

■調査期間
平成29年8月10日(木)～平成29年9月10日(日)

■調査内容
対策案（ルート案）を検討する際に配慮すべき（重要）と想う事項 等

■アンケート提出方法
(1)アンケート調査票を下記からダウンロードしてください。
(※採案（ルート案）等は、調査票に掲載してあります。）
(2)アンケート調査票に回答をいただき、以下の方法で提出をお願いします。

①メールで送付。
記入いただいたアンケート調査票を添付いただき、提出先メールアドレス宛にメールにて送付してください。
【提出先メールアドレス icur414pi@ctie.co.jp】

②FAXで送付。
記入いただいたアンケート調査票を、国土交通省沼津河川国道事務所計画課宛に送付してください。
【提出先FAX番号 055-934-2015】

■アンケート調査票

沿線及び周辺住民の皆様 （伊豆市、沼津市、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、浜伊豆町にお住いの皆様）	沿線及び周辺住民以外の 深緑利用者の皆様 （沿線及び周辺住民以外アンケート調査票）	沿線及び周辺住民以外の 深緑利用者の皆様 （沿線利用別アンケート調査票）
--	---	--

■アンケートに関するお問い合わせ先
国土交通省沼津河川国道事務所計画課（電話番号 055-934-2010）
受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日を除く）9：00～17：00



▲「道の駅」下田開国みなとと「道の駅」天城越え



▲「道の駅」伊豆ゲートウェイ函南

2. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要④

■新聞や自治体広報誌への掲載、道路利用者アンケート調査票常設箇所等へのポスターの掲示を実施。

■新聞広告(平成29年8月26日(土)の静岡新聞・伊豆新聞他に掲載)

あなたと考える伊豆縦貫自動車道!
～伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画についてご意見をお聞かせください。～

伊豆縦貫自動車道は、沼津市から下田市までの延長約60kmの高規格幹線道路です。今回、一般国道414号の天城湯ヶ島から河津までの区間の計画にあたり、皆さまからご意見をお聴きするためアンケートを実施しております。(伊豆市、河津町、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町の各世帯にアンケート調査票を郵送配布しております。)

実施期間:平成29年9月10日(日)まで

質問の内容
伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の区間について、対策案(ルート帯案)を検討する際に配慮すべき(重要)と思う事項等についてお聞かせください。

回答方法(以下の3種類あります)

- ①伊豆地域にお住まいの方は、郵送書類に同封されている「郵便はがき」にて回答を記入し、投函してください。
- ②伊豆地域の方は最寄りの市役所、町役場および伊豆半島内の「道の駅」に「伊豆縦貫自動車道の計画に関するアンケート」のコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。
(伊豆地域…伊豆市、河津町、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町) (「道の駅」…花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くらら戸田、伊豆ゲートウェイ(函南))
- ③下記HPからもアンケートに回答できます。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/road/route414/questionary.html>

お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 計画課
〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2
電話:055-934-2010(直通)
受付時間:月曜日～金曜日(土日祝祭日を除く) 9:00～17:00

伊豆縦貫自動車道 延長約60km

アンケート対象区間 天城湯ヶ島～河津 延長約15km

東駿河湾環状道路
修善寺道路
天城北道路 大平IC～(天城湯ヶ島IC) H30年度開通予定
河津下田道路

■自治体広報誌・回覧板 (「広報しもだ」の8月号及び伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町の回覧板に掲載)

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画に関する第2回アンケート

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、皆さまに役立つ道路となるよう、地域の皆さまや地元企業、道路利用者などを対象にアンケート調査を実施します。

今後、各世帯にアンケート調査票が郵送されますので、対策案(ルート帯案)を検討する際に配慮すべき(重要)と思う事項について、調査のご協力をお願いします。

回答方法

- ①同封の郵便はがきに回答を記入し、投函してください。
- ②最寄りの市役所、町役場及び伊豆半島内の「道の駅(8駅)」に「伊豆地域の課題と道路整備について」のコーナーを設けていますので、そちらで回答してください。

(市役所、町役場…下田市、伊豆市、河津町、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町) (「道の駅」…花の三聖苑伊豆松崎、天城越え、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉湯の花、くらら戸田、伊豆ゲートウェイ(函南))

※下記HPからもアンケート調査票を入手できます。
[沼津河川国道HP](http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/)(<http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>)

問合せ先
国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 計画課
〒410-8567 沼津市下香貫外原 3244-2 ☎055-934-2010
受付時間:月曜日～金曜日(土日祝祭日を除く) 9:00～17:00

広報しもだ

～7月21日～
観光列車
「THE ROYAL EXPRESS」到着セレモニー

■ポスター (道路利用者アンケート調査票常設箇所等に掲示)

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画に関する第2回アンケート

本アンケートは、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆さまのご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

本アンケートは全2回行い、2回目となる本調査では、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)について、対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項等について、ご意見を伺いたく、ご協力をお願いします。

回答いただいた内容は、国土交通省沼津河川国道事務所で集計を行います。

■伊豆縦貫自動車道は、延長約60kmの高規格幹線道路です。

・伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島の骨格を形成し、地域の「命の道」となる延長約60kmの高規格幹線道路です。

・伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)は、天城北道路と河津下田道路の間に位置する道路です。

■このアンケートの対象は、天城湯ヶ島～河津の区間です。

拡大図

東駿河湾環状道路
修善寺道路
天城北道路 大平IC～(天城湯ヶ島IC) H30年度開通予定
アンケート対象区間 天城湯ヶ島～河津 延長約15km
河津下田道路

広域図

伊豆縦貫自動車道 延長約60km

※(OIC)は仮称

お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 計画課
〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2
電話: 055-934-2010(直通)
受付時間: 月曜日～金曜日(土日祝祭日を除く)9:00～17:00
ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

2. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要⑤

■アンケート調査項目を踏まえた意見聴取の内容

■質問事項

- 対策案（ルート帯案）について
- インターチェンジの設置について
- その他自由意見

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

※左に示した「各ルート帯案の比較表」を参考にお答えください。

質問1 この地域(天城湯ヶ島～河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。

以下の①～⑧の項目について5段階評価してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

- ①危険物積載車両等※を含む全ての車が通行できることが重要
- ②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要
- ③救急病院へ早く到達できることが重要
- ④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要
- ⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要
- ⑥景観への配慮がなされていることが重要
- ⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要
- ⑧整備費用が安いことが重要
- ⑨その他(自由回答)

※危険物積載車両：火薬類・爆発物・毒物・劇物・水や空気と作用して発火する物質等の危険物を積載した車両

インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

質問2 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。

以下の①～③の項目について5段階評価してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

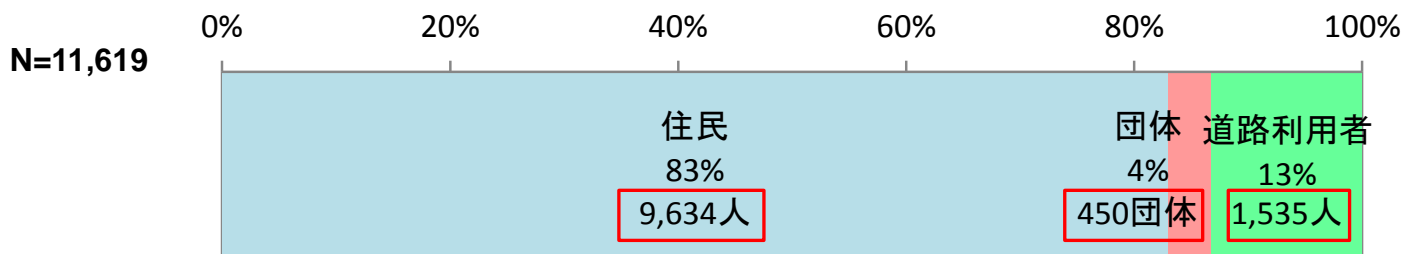
- ①市街地(集落等)への連絡性が良い
- ②周辺の観光地への連絡性が良い
- ③アクセス道路が十分な機能を有している
- ④その他(自由回答)

質問3 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

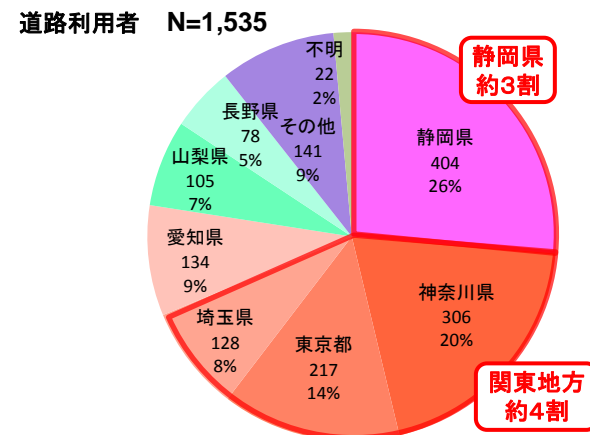
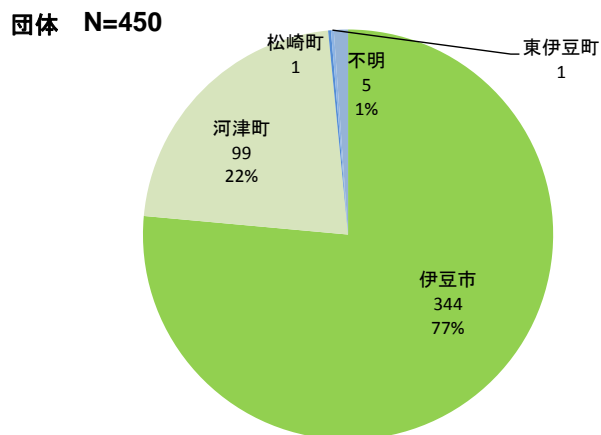
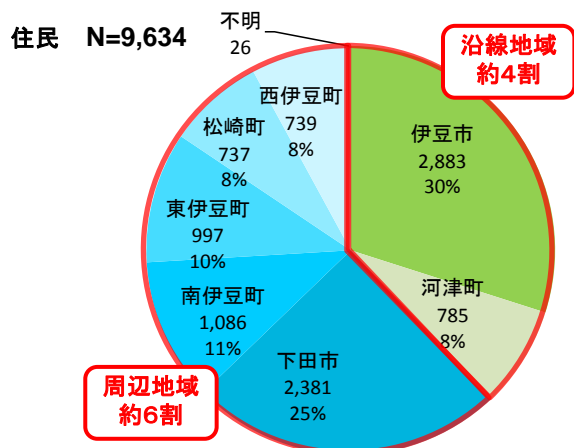
2. 第2回意見聴取の結果 2)回答者属性

- 住民9,634人、団体450社、道路利用者1,535人から意見聴取を実施。
- 住民アンケートは、沿線地域である伊豆市と河津町からの回答が約4割を占める。
- 道路利用者アンケートは、静岡県内の利用者が約3割、関東地方からの利用者が約4割を占める。

アンケート回収状況



居住地・事業所所在地別の集計結果



2. 第2回意見聴取の結果

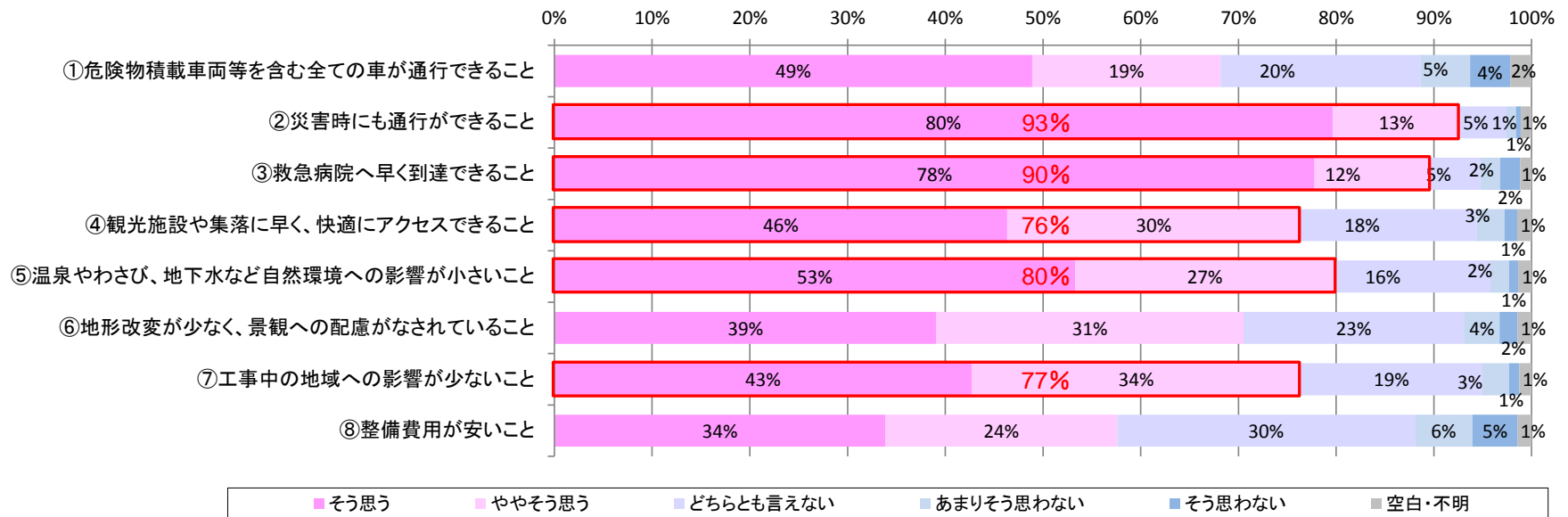
3)ルート帯案重要事項①

- 対策案（ルート帯案）を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項について、「②災害時にも通行できること」、「③救急病院へ早く到達できること」が重要と回答した割合が約9割と多い。
- 「④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできること」、「⑤自然環境への影響が小さいこと」、「⑦工事中の地域への影響が少ないこと」が重要と回答した割合も約8割と多い。

全体

N=11,619

Q:この地域(天城湯ヶ島～河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。
以下の①～⑧の項目について5段階評価してください。



- ①危険物積載車両等※を含む全ての車が通行できることが重要
- ②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要
- ③救急病院へ早く到達できることが重要
- ④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要
- ⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要

- ⑥景観への配慮がなされていることが重要
- ⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要
- ⑧整備費用が安いことが重要
- ⑨その他(自由回答)

※危険物積載車両: 火薬類・爆破物・毒物・劇薬・水や空気と作用して発火する物質等の危険物を積載した車両

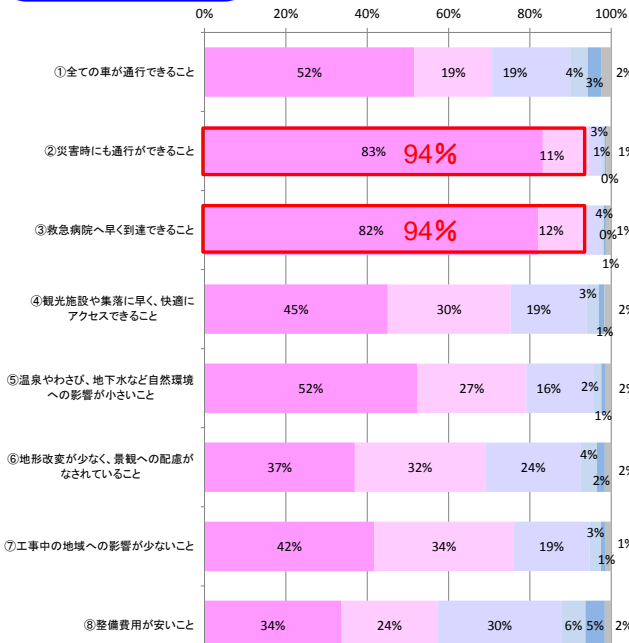
2. 第2回意見聴取の結果

3) ルート帯案重要事項②

- 住民は、「②災害時にも通行ができること」、「③救急病院へ早く到達できること」が重要という意見が多い。
- 各種団体は、「②災害時にも通行ができること」、「③救急病院へ早く到達できること」、「④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできること」、「⑤自然環境への影響が小さいこと」、「⑦工事中の地域への影響が小さいこと」が重要という意見が多い。
- 道路利用者は、「②災害時にも通行ができること」、「④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできること」に加え「⑤自然環境への影響が小さいこと」が重要という意見が多い。

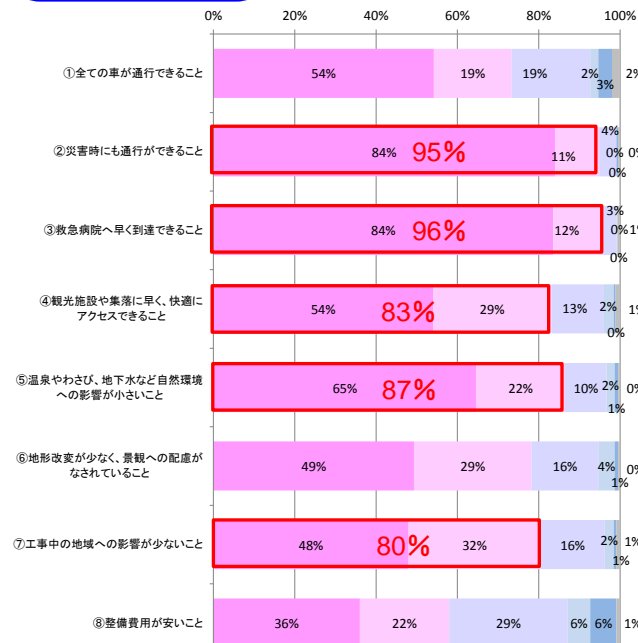
住民

N=9,634



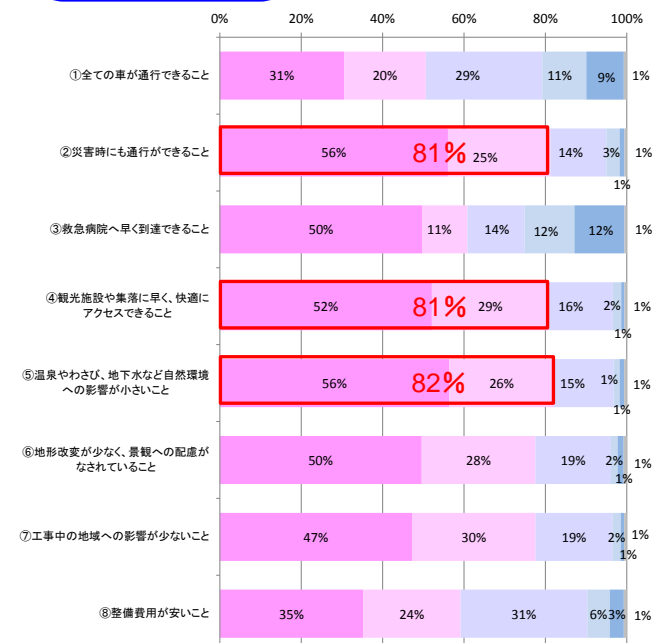
団体

N=450



道路利用者

N=1,535



■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 空白・不明

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 空白・不明

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 空白・不明

- ①危険物積載車両等※を含む全ての車が通行できることが重要
- ②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要
- ③救急病院へ早く到達できることが重要
- ④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要
- ⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要

- ⑥景観への配慮がなされていることが重要
- ⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要
- ⑧整備費用が安いことが重要
- ⑨その他(自由回答)

※危険物積載車両：火薬類・爆破物・毒物・劇薬・水や空気と作用して発火する物質等の危険物を積載した車両

2. 第2回意見聴取の結果

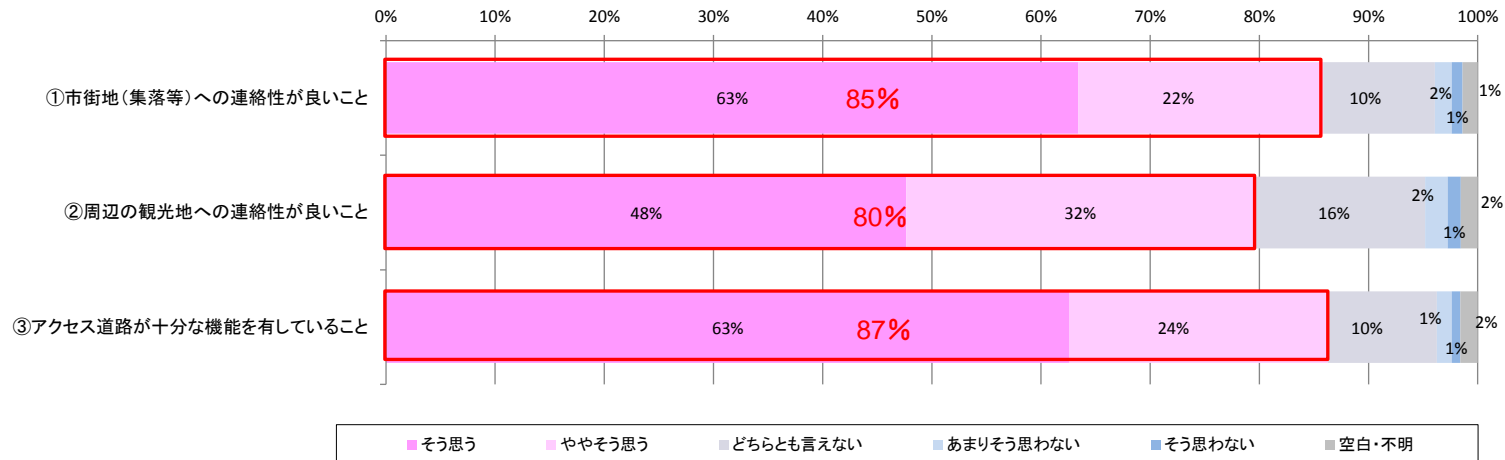
4) インターチェンジ重要事項①

■ インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべきと思う事項について、全ての項目において重要という意見が多い。

全体

N=10,612

Q: インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。
以下の①～③の項目について5段階評価してください。



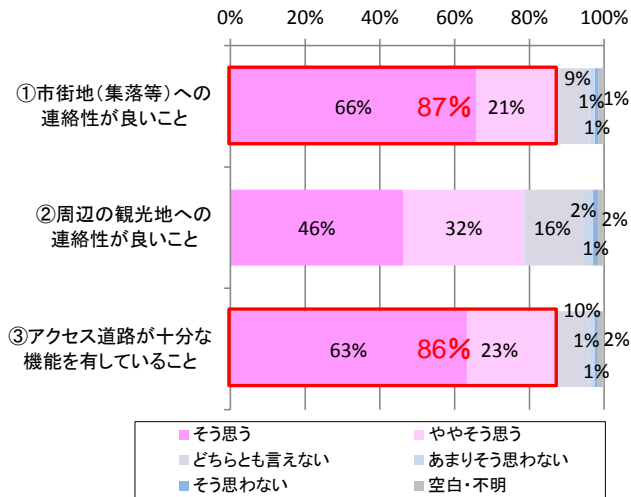
2. 第2回意見聴取の結果

4) インターチェンジ重要事項②

- 住民は、「①市街地（集落等）への連絡性が良いこと」、「③アクセス道路が十分な機能を有していること」が重要という意見が多い。
- 各種団体は、全ての項目において重要という意見が多い。
- 道路利用者は、「②周辺の観光地への連絡性が良い」、「③アクセス道路が十分な機能を有していること」が重要という意見が多い。

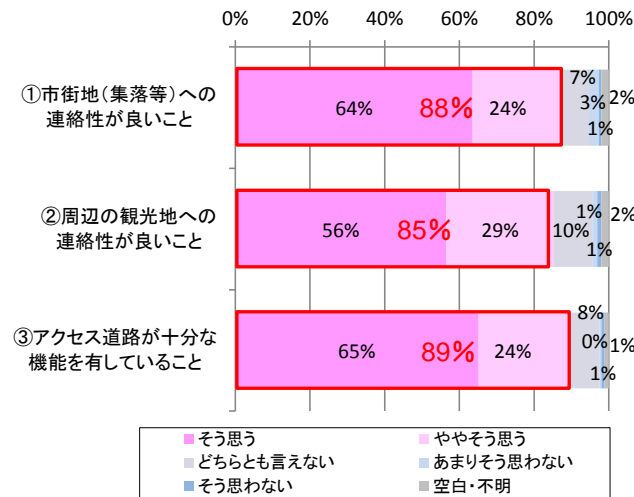
住民

N=9,634



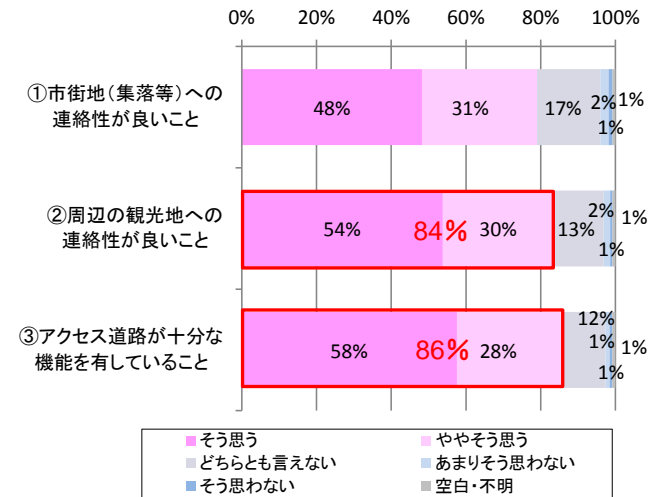
団体

N=450



道路利用者

N=1,535



- ①市街地(集落等)への連絡性が良い
- ②周辺の観光地への連絡性が良い
- ③アクセス道路が十分な機能を有している
- ④その他(自由回答)

3. 対応方針(原案)の検討

3. 対応方針(原案)の検討

1) ルート帯案の検討

- 天城北道路(天城湯ヶ島IC)と河津下田道路(河津IC)を繋ぐ、80km/hで走行できる自動車専用道路。
- ただし、国道414号の事前通行規制区間以外の部分については、現道を活用する案も検討。
- 温泉は、地域において重要な資源であり、いずれのルートにおいても温泉地下水の涵養源や遮断層を回避。

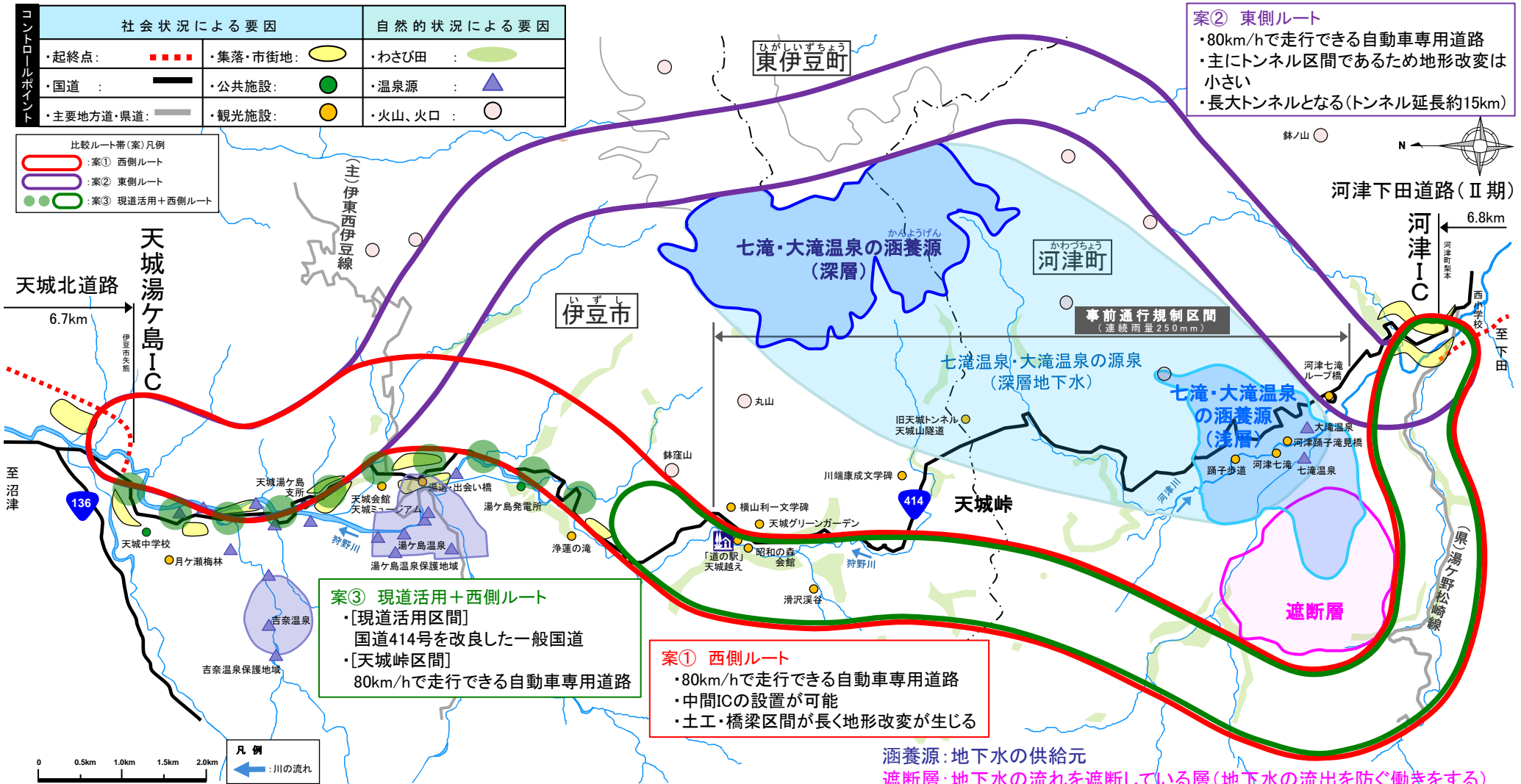
社会状況による要因		自然的状況による要因	
・起終点:	・集落・市街地:	・わさび田:	
・国道:	・公共施設:	・温泉源:	
・主要地方道・県道:	・観光施設:	・火山、火口:	

比較ルート帯(案)凡例
 :案① 西側ルート
 :案② 東側ルート
 :案③ 現道活用+西側ルート

案② 東側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・主にトンネル区間であるため地形改変は小さい
 ・長大トンネルとなる(トンネル延長約15km)

案③ 現道活用+西側ルート
 ・[現道活用区間]
 国道414号を改良した一般国道
 ・[天城峠区間]
 80km/hで走行できる自動車専用道路

案① 西側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・中間ICの設置が可能
 ・土工・橋梁区間が長く地形改変が生じる



涵養源: 地下水の供給元
 遮断層: 地下水の流れを遮断している層(地下水の流出を防ぐ働きをする)

3. 対応方針(原案)の検討

1) ルート帯案の検討

■意見聴取にて、ルート帯案を考える際に重要とされた事項に基づき比較すると、案①：西側ルートが最も優位である。

評価項目		案①：西側ルート	案②：東側ルート	案③：現道活用+西側ルート
ルート帯概要		80km/hで走行できる自動車専用道路	80km/hで走行できる自動車専用道路	国道414号を改良した一般道路+80km/hで走行できる自動車専用道路
		約20km	約20km	約20km
「政策目標」に対する評価	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	危険物積載車両制限なし	長大トンネルで危険物積載車両制限がある	危険物積載車両制限なし
	事前通行規制区間を回避できる	事前通行規制区間を回避できる	事前通行規制区間を回避できる	・別線整備区間では事前通行規制区間を回避できる ・現道活用区間でも防災上の危険箇所は回避可能 ＜但し、現道活用区間ではリダンダンシーが確保されない＞
	救急医療施設等への速達性、確実性の向上	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	案①、案②に比べて救急医療施設等への速達性、確実性に劣る
	高速ネットワークの確保による観光振興の支援	主要な観光施設にアクセスしやすい ＜観光施設の付近に中間ICの設置が可能＞	案①、案③に比べて主要な観光施設にアクセスしにくい ＜観光施設が多く立地する地域から離れたルートとなる＞	主要な観光施設にアクセスしやすい ＜但し、現道活用区間では通過交通と生活交通が混在＞
「配慮すべきポイント」に対する評価	自然環境の保全	温泉影響範囲を回避するなど影響が小さい	温泉影響範囲を回避するなど影響が小さい	温泉影響範囲を回避するなど影響が小さい
		案②に比べて地形変化が大きい	トンネル区間がほとんどであり地形変化が小さい	案②に比べて地形変化が大きい
	生活環境への配慮	集落への影響が少ない	集落への影響が少ない	案①、案②に比べて、現道活用区間において、集落への影響が大きい ＜現道において、工事中に長期間の通行規制が生じる＞
	経済性への配慮	約1,300～1,500億円	約1,400～1,600億円	約1,100～1,300億円

(※)着色部は、意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目。

3. 対応方針(原案)の検討

2)ルート帯案と対応方針(原案)

■道路整備の必要性

政策目標を達成できる道路の必要性を確認

【政策目標】

- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 救急医療施設等への速達性・確実性の向上
- 高速ネットワークの確保による観光振興の支援

地域の意見聴取の結果

【ルート検討における重要事項】

- 災害時にも通行ができること
- 救急病院へ早く到達できること
- 観光施設や集落に早く、快適にアクセスできること
- 自然環境への影響が小さいこと
- 工事中の地域への影響が少ないこと

【インターチェンジ位置 検討における重要事項】

- 市街地(集落等)への連絡性が良いこと
- 周辺の観光地への連絡性が良いこと
- アクセス道路が十分な機能を有していること

■対応方針(原案)

1. ルート案については、

「全線自動車専用道路で整備し、集落や観光地へのアクセスに優れる【案①:西側ルート】」とする。

【理由】

- 災害時の代替性が確保される。
- 救急医療施設等への速達性に優れる。
- 中間インターチェンジの設置が可能であり、観光施設や集落へのアクセス性が高い。
- 地域の生活環境への影響を軽減できる。

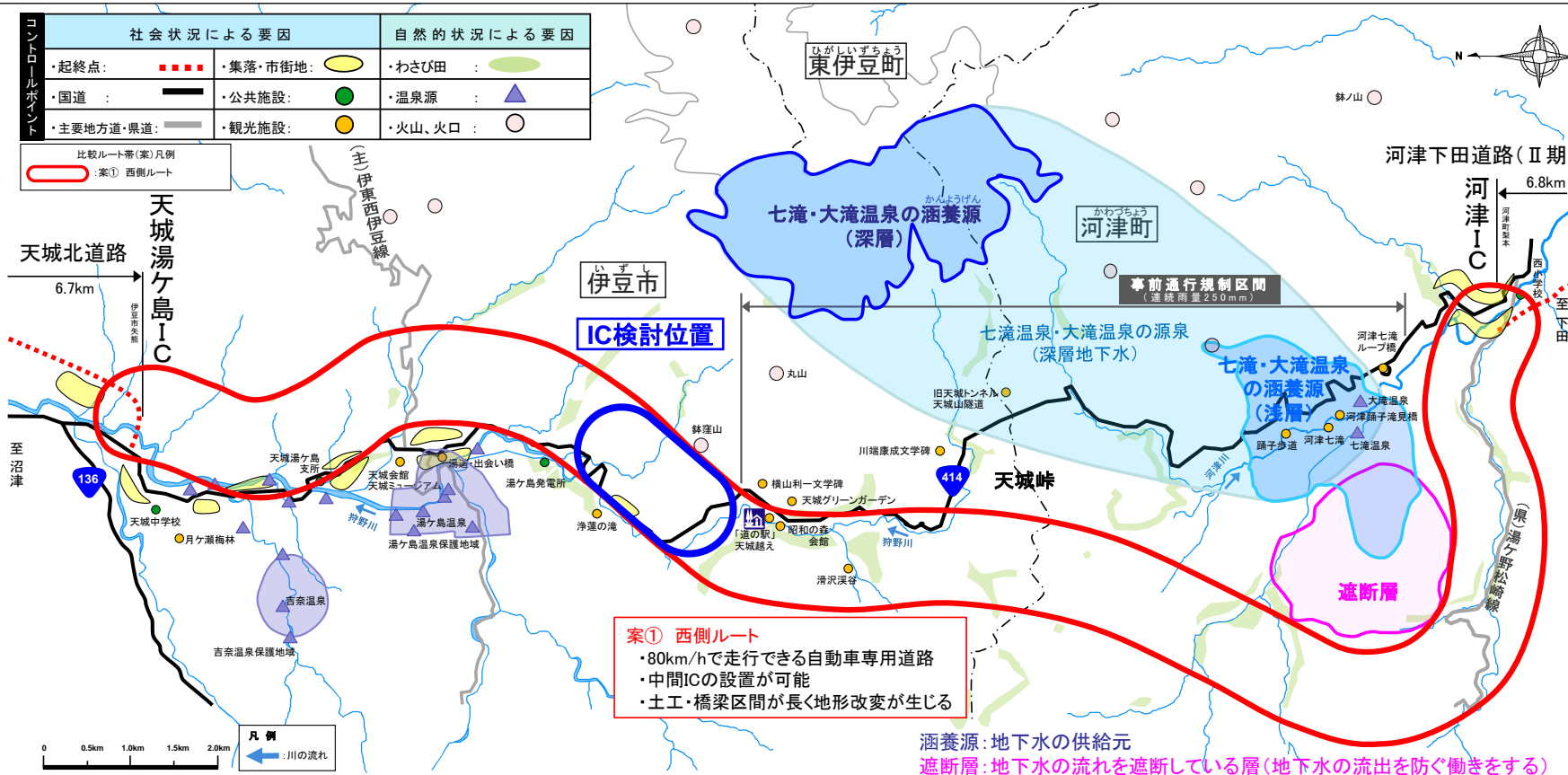
2. インターチェンジについては、

「事前通行規制区間を避けるとともに、集落や観光施設へのアクセス性を考慮した配置を検討」する。

3. 対応方針(原案)の検討

2)ルート帯案と対応方針(原案)

- 全線自動車専用道路で整備し、集落や観光地へのアクセスに優れる【案①：西側ルート】とする。
- インターチェンジについては、事前通行規制区間を避けるとともに、集落や観光施設へのアクセス性を考慮し、配置を検討。



【計画・ルートの考え方】

- ・災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成する計画
- ・救急医療施設等への速達性・確実性を向上させる計画
- ・観光振興を支援する高速ネットワークを確保する計画
- ・自然環境の保全や工事中の地域への影響に配慮する計画

【インターチェンジ配置の考え方】

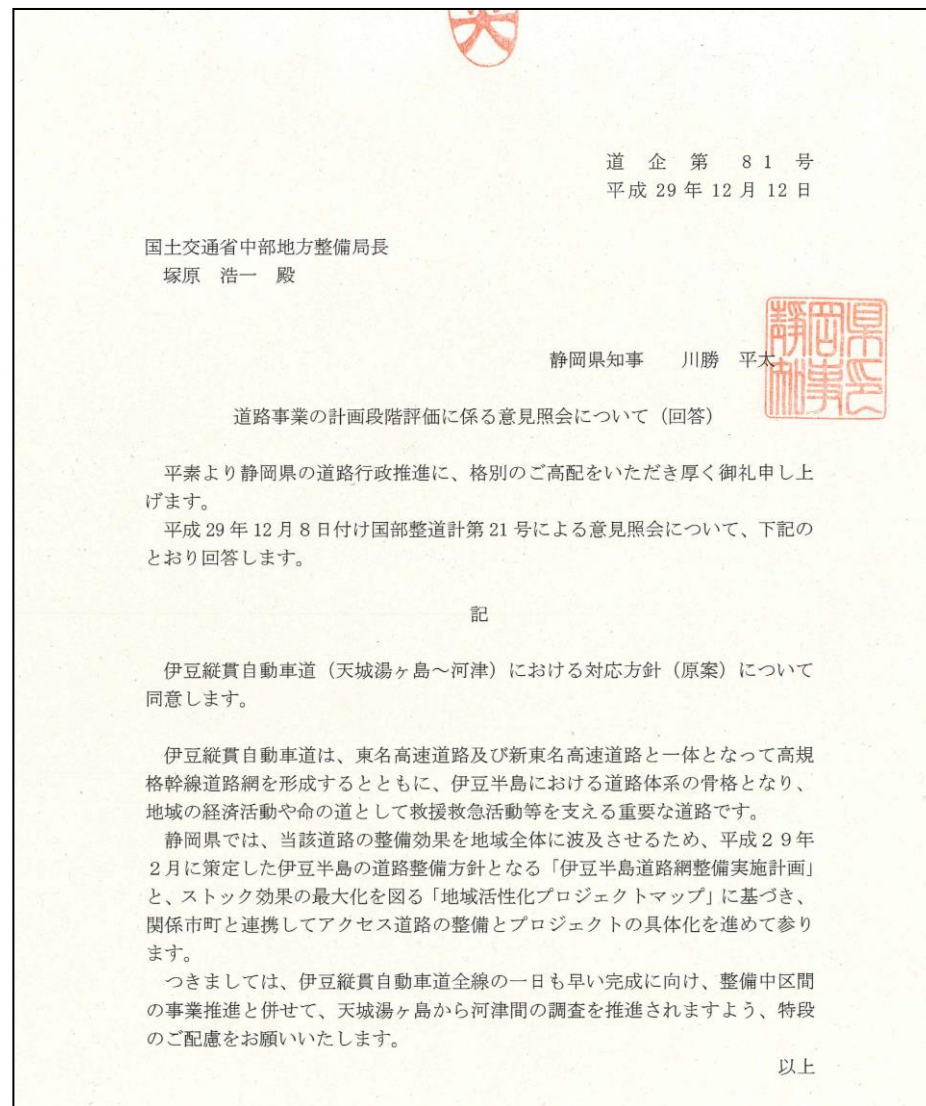
- ・市街地や観光施設とのアクセス性を考慮
- ・アクセス道路が十分に機能する箇所に配置(事前通行規制区間を回避)

4. 自治体への意見照会結果

4. 自治体への意見照会結果 1)自治体への意見照会〔対応方針(原案)に対する意見〕

意見照会の回答

自治体名	意見
静岡県	<p>伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)における対応方針(原案)について同意します。</p> <p>伊豆縦貫自動車道は、東名高速道路及び新東名高速道路と一体となって高規格幹線道網を形成するとともに、伊豆半島における道路体系の骨格となり、地域の経済活動や命の道として救援救急活動等を支える重要な道路です。</p> <p>静岡県では、当該道路の整備効果を地域全体に波及させるため、平成29年2月に策定した伊豆半島の道路整備方針となる「伊豆半島道路網整備実施計画」と、ストック効果の最大化を図る「地域活性化プロジェクトマップ」に基づき、関係市町と連携してアクセス道路の整備とプロジェクトの具体化を進めて参ります。</p> <p>つきましては、伊豆縦貫自動車道全線の一日も早い完成に向け、整備中区間の事業推進と併せて、天城湯ヶ島から河津間の調査を推進されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>



4. 自治体への意見照会結果 1)自治体への意見照会〔対応方針(原案)に対する意見〕

意見照会の回答

自治体名	意見
伊豆市	<p>1. 伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)における対応方針(原案)について同意します。 本路線につきましては、観光振興等による地域活性化を図る上で大変重要な路線であり、観光地へのアクセス性や速達性の確保に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>2. 伊豆市としては、伊豆縦貫自動車道整備促進のために地域の合意形成を図るとともに、整備効果を最大限発揮させるために必要なアクセス道路の整備を進めて参りますので、早期に事業化されますようご配慮をお願いいたします。</p> <p>3. なお、本路線の整備にあたり、市街地の近傍を通過する箇所にあつては、大気質、騒音、水環境等の生活環境に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地、温泉、わさび田等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。</p>

伊 建 用 第 3 1 7 号
平成 2 9 年 1 2 月 1 2 日

国土交通省中部地方整備局長
塚原 浩一 殿

伊豆市長 菊地 豊



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

平成 2 9 年 1 2 月 8 日付け国部整道計第 2 1 号で意見照会のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)における対応方針(原案)について同意します。
本路線につきましては、観光振興等による地域活性化を図る上で大変重要な路線であり、観光地へのアクセス性や速達性の確保に特段のご配慮をお願いいたします。
2. 伊豆市としては、伊豆縦貫自動車道整備促進のために地域の合意形成を図るとともに、整備効果を最大限発揮させるために必要なアクセス道路の整備を進めて参りますので、早期に事業化されますようご配慮をお願いいたします。
3. なお、本路線の整備にあたり、市街地の近傍を通過する箇所にあつては、大気質、騒音、水環境等の生活環境に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地、温泉、わさび田等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

以上


4. 自治体への意見照会結果 1)自治体への意見照会〔対応方針(原案)に対する意見〕

意見照会の回答

自治体名	意見
河津町	<p>1. 伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)における対応方針(原案)について同意します。 当町及び伊豆地域は観光が基幹産業であり、観光振興による地域活性化には観光地への速達性・アクセス性が重要ですので、当該区間の整備においては、観光地へのアクセシビリティにもご配慮頂きますようお願いいたします。</p> <p>2. 河津町としては、伊豆縦貫自動車道整備促進のために地域の合意形成を図るとともに、伊豆縦貫自動車道の整備を機に、より一層観光振興による地域活性化への取組を進めて参りますので、早期に事業化されますよう、特段のご配慮をお願いします。</p> <p>3. なお、本路線の整備にあたり、市街地の近傍を通過する箇所にあつては、大気質、騒音、水環境等の生活環境に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地、温泉、わさび田等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。</p>

建 第 467 号
平成29年12月12日

国土交通省中部地方整備局長
塚原 浩一 殿

河津町長 岸 重 宏 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

平成29年12月8日付け国部整道計第21号で意見照会のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)における対応方針(原案)について同意します。
 当町及び伊豆地域は観光が基幹産業であり、観光振興による地域活性化には観光地への速達性・アクセス性が重要ですので、当該区間の整備においては、観光地へのアクセシビリティにもご配慮頂きますようお願いいたします。

2. 河津町としては、伊豆縦貫自動車道整備促進のために地域の合意形成を図るとともに、伊豆縦貫自動車道の整備を機に、より一層観光振興による地域活性化への取組を進めて参りますので、早期に事業化されますよう、特段のご配慮をお願いします。

3. なお、本路線の整備にあたり、市街地の近傍を通過する箇所にあつては、大気質、騒音、水環境等の生活環境に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地、温泉、わさび田等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

以上

5. 対応方針(案)のまとめ

5. 対応方針(案)のまとめ

1) 対応方針(案)

- 全線自動車専用道路で整備し、集落や観光地へのアクセスに優れる【案①：西側ルート】とする。
- インターチェンジについては、事前通行規制区間を避けるとともに、集落や観光施設へのアクセス性を考慮し、配置を検討。

